

平成31年度実質当初予算 農林水産部主要施策の概要

◎予算編成のポイント

農林水産業の担い手の減少や高齢化、人口減少に伴う国内市場の縮小等の課題を踏まえて、農林水産業が将来にわたり持続的に発展していけるよう、成長産業化を促進するとともに、農山漁村地域の振興に向け、各種施策を展開する。

◎重点主要施策の概要

- 他産業のノウハウを積極的に取り入れ、新たな発想により、建設機械を活用した効率化や生産工程の「見える化」などを促進することで、農林水産業の収益力向上に向けた取り組みを進める。
- 特色ある県産農林水産物のより一層のブランド化を推進するほか、食文化の総合力を活かした県産食材の海外展開を進めるなど、ニーズの変化に対応した生産・販路体制の強化を図る。
- 企業等の農業参入を促進するなど、意欲ある担い手を確保するとともに、新規就農者の確保・育成やスキルアップ支援のほか、農地整備の推進などにより、地域の農業を支える多様な担い手の活躍を支援する。
- 低コストで安定的な県産材供給体制の整備などにより、人工林資源の積極的な活用を進めるとともに、いしかわ森林環境基金を活用し、木材の利用を促進することにより、林業の活性化を図る。
- 水産物の安定供給のため、適正な天然資源の管理や増殖・養殖に取り組むとともに、持続的な漁業経営を確立するため、高鮮度・高付加価値な水産物の供給と意欲ある人材の確保・育成により、漁業の振興を図る。
- 世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとする多様な地域資源を活用した生業づくりの支援や、「食」を中心とした石川型スローツーリズムモデルを推進するとともに、地域による多面的機能の保全と安全・安心な地域づくりを進め、地域の強みを活かした里山里海の振興を図る。

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
農林水産業の成長産業化と里山里海地域の振興		
1 他産業と連携した新たな発想による農林水産業の収益力向上		
・ コマツと連携した低コストな水稻生産・畑作生産モデル	52,000	多機能ブルドーザを活用した水稻直播栽培の大規模実証(☞普及モデルの検討)、ホイールローダを活用した畑作作業の効率化(☞現地実証)など
・ IT企業と連携した中山間地等での低コスト水稻生産モデル	30,000	ドローン・AIを活用した直播技術や病害虫等のピンポイント防除技術の開発
・ コマツ・東レと連携した低コスト施設園芸モデル	13,000	☞地下水冷房装置と遮熱シートの組み合わせによる栽培実証など
・ トヨタと連携した生産工程「見える化」による収益向上モデル	4,000	現場改善ノウハウを活用した経営効率化の実証
・ コマツやIT企業と連携した先進的林业経営モデル	33,300	低コストな主伐作業促進に向けたドローン操縦員の養成、ドローン・AIを活用した自動で森林の境界線を推定する技術の開発など
2 特色ある県産農林水産物の生産・販売体制強化とブランド化		
・ ルビーロマン	61,300	☞日照量判定ソフトを活用した商品化率向上技術の指導、栽培ハウスの整備支援、☞東京出荷10周年を記念した首都圏での集中的なPRの展開など
・ 加賀しずく	13,100	首都圏の洋菓子店・レストラン等との連携によるブランドイメージ定着に向けたPR、県内の料亭・ホテル等と連携したPRなど
・ エアリーフローラ	11,750	☞純白新品種の市場デビュー(2020年春)に向けたプロモーションの展開、☞首都圏百貨店の販売カタログへの掲載によるPRなど
・ 能登牛	165,709	牛舎の増築支援(目標出荷数1,300頭→1,500頭)、首都圏高級料理店でのフェア開催、☞1000頭達成記念イベントの開催など
・ のとてまり	11,000	首都圏百貨店等と連携したフェアの開催など
・ 能登とり貝	12,000	海中環境の解析・情報提供による安定生産支援、☞プレミアム規格の首都圏初出荷に合わせた食談会の開催など

農林水産部

事業名	金額(千円)	説明
・ ひやくまん穀	30,000	県内での大規模プロモーションの展開、㊦本格的な出荷拡大を見据えた中食・外食事業者向け利用提案会の開催など
・ ㊦大吟醸用県産酒米の市場デビュー(2020年春)による本県地酒のブランド価値向上	3,000	愛称・ロゴマークの公募やイベント実施による新たな酒米のPR、生産体制強化など
・ ㊦いしかわネクストブランド食材の育成	1,000	専門家によるブランド食材候補の選定や特長に応じた個別戦略の策定など
・ 特色ある県産食材の首都圏へ向けた販路開拓	12,000	シェフ・バイヤー等を対象とした「いしかわ百万石マルシェ」の開催
・ 流通産業との連携による売れる生産・販売体制づくり	4,500	バイヤー等からの提案に基づく県産食材を活用した商品づくりなど
・ 市場流通における地産地消の推進	2,000	能登地域の特色ある食材の市場流通(奥能登直行便、中能登直行便)への支援
・ 県産農林水産物の海外需要の開拓	4,500	現地レストラン・輸入業者等とのマッチング、石川フェア等でのPR(台湾、シンガポール、香港)など
・ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた本県食文化の魅力発信	7,600	㊦日本外国特派員協会でのフェアの開催
3 地域の農業を支える多様な担い手の活躍の支援		
・ いしかわ農業参入支援ファンドの拡充(140億円→200億円)		㊦小規模な耕作放棄地に参入する企業・農業法人への支援拡充など
・ 農地中間管理事業による農地集積の推進	358,000	農地の出し手に対する集積協力金の交付
・ 移住就農希望者に対する総合的な支援	27,500	いしかわ農業総合支援機構による農業のワンストップ窓口の運営、就農相談会や出前講座によるきめ細かな情報発信(首都圏、㊦関西圏)、農業法人での見学・短期研修・インターンシップの実施など
・ いしかわ耕稼塾による農業人材の育成	25,000	就農希望者に対する技術・経営研修
・ 新規就農者の育成支援	237,068	就農準備の支援と就農後の定着を図るための給付金
・ ほ場整備の推進	5,114,153	新規8地区、継続27地区 (㊦穴水町宇留地地区、㊦志賀町坪野地区ほか)
・ かんがい排水施設の更新整備	725,904	新規1地区、継続5地区 (㊦白山市井口地区、中村用水第2四期地区ほか)

事業名	金額(千円)	説明
・ 用排水機場等の長寿命化に向けた補修	1,605,683	新規8地区、継続10地区 (野々市市手取川右岸二期地区、 加賀市堀割用水地区ほか)
・ 広域営農団地農道の整備	717,600	継続1地区(能登外浦4期地区)
・ 河北潟地区揚水機場の改修	92,650	継続1地区(河北潟地区)
・ 河北潟周辺地区排水機場等の改修(実施設計)	87,000	新規1地区(河北潟周辺地区)
・ 白山頭首工等の改修	333,500	継続1地区(手取川流域地区)
・ 家畜排せつ物処理施設の改修	339,960	河北潟ゆうきの里の改修に対する支援
・ 担い手等の経営基盤の強化	442,000	農業機械の導入・施設設備に対する支援
4 森林資源の利活用と林業の活性化		
・ コマツやIT企業と連携した先進的林業経営モデル(再掲)	33,300	
・ 林業就業希望者に対する総合的な支援(森林環境譲与税事業)	22,000	移住就業希望者の掘り起こしやインターンシップ、定着率向上に向けた労働環境改善に対する支援や高度技術習得研修の実施など
・ いしかわ森林環境税による森づくりの推進	387,220	放置竹林の除去、里山林における緩衝帯の整備など
・ いしかわ森林環境税による県産材の利用促進	80,000	住宅の県産材使用に対する助成、民間非住宅施設における県産材使用のモデルとなる取り組みに対する支援、県産材使用の機運醸成に向けたPRの実施など
・ 森林環境譲与税による市町の森林整備に対する支援(一部再掲)	42,000	広域調整を担う協議会の設置、市町職員向け研修の実施など
・ 松くい虫被害の予防・対策	156,749	空中散布等による松くい虫被害の蔓延防止
・ 森林整備の推進	977,600	間伐・枝打などの森林整備に対する助成
・ 林道の整備	481,455	新規6路線、継続10路線 (北谷線、安谷線、白木峠線ほか)
・ 治山対策	1,572,938	新規17地区、継続50地区(中能登町能登部上、 金沢市小豆沢町、白山市河内町口直海ほか)
5 漁業の振興と水産物の安定供給		
・ 漁業就業希望者に対する総合的な支援	6,900	現地見学会・体験乗船会・移住予定者を対象とした長期研修の実施など
・ 能登とり貝のブランド化の推進(再掲)	12,000	

事業名	金額(千円)	説明
・ いしかわ里山どじょうの生産拡大	2,300	民間への種苗生産技術の移転、協議会によるPR活動への支援など
・ 海女文化の継承と振興(一部再掲)	7,100	⑩三重県と連携した海女文化の調査・研究、新規就業海女の技術習得支援など
・ 海女の漁場となる藻場の再生による里海保全	1,700	海女によるウニの駆除等の藻場再生活動に対する助成
・ 離島漁業の振興	14,000	水産物の輸送コスト軽減、漁場環境保全活動の支援など
・ 魚礁設置による沿岸漁場の造成	224,656	新規3地区、継続3地区(⑩輪島市劔地地区、輪島市輪島地区ほか)
・ 漁港施設の整備	659,961	新規6漁港(⑩志賀町富来漁港、⑩能登町高倉漁港ほか) 継続17漁港(加賀市橋立漁港、珠洲市蛸島漁港ほか)
・ 市町漁港整備事業に対する助成	43,916	七尾市など8市町
6 地域の強みを活かした里山里海の振興		
・ 里山振興ファンド(120億円)による里山里海地域の振興	76,000	地域資源を活用した生業の創出への支援など
・ 石川型スローツーリズムの推進 担い手の掘り起こしと誘客推進	8,000	サポートデスクによる農家民宿の開業から経営の安定化までの一貫支援、⑩首都圏の旅行会社へのプロモーションなど
モデル的な取り組みへの支援(一部再掲) (里山振興ファンド)	19,000	計画策定支援、多様な滞在メニューの開発支援など
・ 世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力発信	11,800	⑩成田空港での世界農業遺産PRなど
・ いしかわ世界農業遺産国際貢献プログラムの推進	3,000	認定を目指す国への課題解決に向けた一貫支援
・ 海女文化の継承と振興(再掲)	7,100	
・ 海女の漁場となる藻場の再生による里海保全 (再掲)	1,700	
・ イノシシ等鳥獣による農作物被害防止対策の充実	228,137	イノシシ防護柵の設置等に対する支援など
・ いしかわジビエの普及推進	6,000	消費拡大に向けたイベントやスーパーでのPRなど
・ 地域ぐるみで行う農業・農村の多面的機能の保全	929,740	農地・農業用水等の良好な保全活動を行う集落への支援
・ 中山間地域における営農継続の推進	532,768	生産条件の不利な中山間地域での営農活動維持への支援

事業名	金額(千円)	説明
・ 環境に配慮した営農の推進	53,614	地域で行う農薬・化学肥料の5割低減活動や、有機農業の取り組みなどへの支援
・ 老朽化したため池の改修・補強	357,302	新規9地区、継続5地区 (◎珠州市広栗地区、◎小松市長谷第2地区ほか)
・ 災害防止のための用排水施設の整備	483,170	継続4地区 (野々市市郷用水第4地区、白山市松任南部地区ほか)
・ 農業用施設の震災対策	354,686	ため池、排水機場等の耐震補強工事や耐震性能調査 (8箇所)